

製品名: RUNX ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab01317**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 49 kDa; Observed MW: 49 kDa

抗原情報

遺伝子名	RUNX1/RUNX2/RUNX3
別名	RUNX1; AML1; RUNX2; OSF2; RUNX3; CBFA3
遺伝子 ID	860/861/864
SwissProt ID	Q01196/Q13761/Q13950
免疫原	-

背景

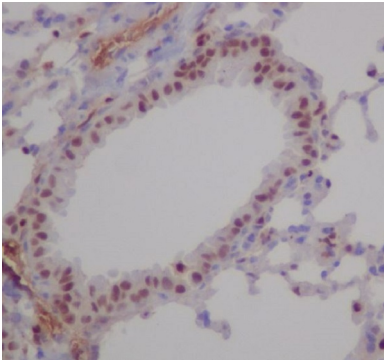
RUNX2 は、エンハンサーまたはプロモーターのコア部位に結合し、オステオポンチン、骨シアロプロテイン、オステオカルシナ

ど、様々な遺伝子の転写を制御します。RUNX3/AML2 は Runt ファミリー転写因子に属します。RUNX3 は、胃上皮細胞における細胞増殖の抑制、背根神経節における神経新生、そして T 細胞分化に重要な役割を果たします。

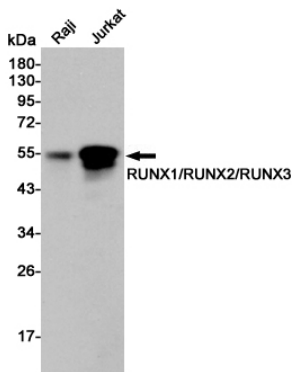
研究分野

神経科学

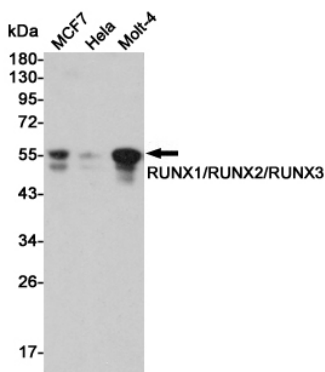
画像データ



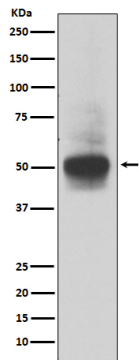
RUNX1/RUNX2/RUNX3 抗体を使用したパラフィン包埋マウス肺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



RUNX1/RUNX2/RUNX3 抗体を使用した Raji および Jurkat 溶解物中の RUNX1/RUNX2/RUNX3 のウェスタン ブロット分析。



RUNX1/RUNX2/RUNX3 抗体を用いた MCF-7、HeLa、Molt4 ライセート中の RUNX1/RUNX2/RUNX3 発現のウェスタンブロット解析



RUNX 抗体を使用した MOLT4 溶解物中の RUNX1/RUNX2/RUNX3 のウェスタンブロット分析。